

第 1 回浜田市総合振興計画審議会 会議録

日時 平成 28 年 7 月 19 日(火)

午後 6 時～午後 8 時 5 分

場所 浜田市役所 (4 階) 講堂

[進行／政策企画課長、会長]

◆ 開会 (午後 6 時)	
政策企画課 課長	<p>定刻になりましたので、只今から第 1 回「浜田市総合振興計画審議会」を始めさせていただきます。</p> <p>本日は、お忙しいところをご出席頂きまして、誠にありがとうございます。</p> <p>本日の会長が決まりますまでの司会を務めさせていただきます、地域政策部政策企画課長の宇津と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>ここで、配付資料の確認をさせていただきます。(配付資料を確認)</p> <p>なお、終了時刻は、午後 8 時を予定しておりますので、ご協力をお願いします。</p> <p>また、浜田市総合振興計画審議会の委員となつていただいた皆様への委嘱状の交付につきましては、本来ですと、久保田市長から皆様へ直接お渡しすべきところではございますが、時間の都合等により、事前に皆様に郵送させていただいておりますので、ご理解をいただきますようお願いいたします。</p> <p>なお、委員の任期につきましては、平成 28 年 6 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日までとさせていただきますので、よろしくお願いいたします。</p>
1 市長あいさつ	
政策企画課 課長	<p>それでは、開会に当たりまして、久保田市長がご挨拶を申し上げます。</p>
市長	<p>市長の久保田でございます。開会に当たりまして、一言ご挨拶を申し上げます。</p> <p>皆様におかれましては、大変忙しいところ今日はお集まりいただき、ありがとうございます。浜田市総合振興計画審議会委員を委嘱させていただきましたので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。</p> <p>また、昨年度は「第 2 次浜田市総合振興計画」及び「浜田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定に当たりまして、委員の皆様にご協力をいただきましたこと、改めて厚くお礼申し上げます。</p> <p>さて、浜田市は、平成 17 年 10 月に市町村合併いたしまして、昨年 10 月に 10 周年を迎えたところでございますが、この間、平成 18 年度に「浜田市総合振興計画」を策定しました。ちょうどそれが平成 27 年度までの 10 年間の計画期間でございましたので、新たに平成 28 年度からの「第 2 次浜田市総合振興計画」の策定に取り組んだところでございます。また、この「第 2 次浜田市総合振興計画」から、本市の最大の課題であります「人口減少対策」に取り組むため重点項目として抽出した「浜田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」も同時に策定しました。</p> <p>これらの策定に当たりましては、浜田市総合振興計画審議会において、全 9 回の審議会と 3 分野に分かれての部会でご審議いただくとともに、元気な浜田づくり市民委員会(通称「100 人委員会」)や地域協議会等のご意見を踏まえながら、作成させていただきました。</p> <p>今年度は「第 2 次浜田市総合振興計画」に基づきまして、いよいよ計画の実</p>

	<p>施に当たる年になりますが、将来像である「住みたい 住んでよかった 魅力いっぱい 元気な浜田 ～豊かな自然、温かい人情、人の絆を大切にするまち～」を目指し、市民の皆様と一緒に取組んでまいります。</p> <p>今回、委員の皆様には、「第2次浜田市総合振興計画」及び「浜田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の進捗管理について、ご審議いただくこととしております。計画を作りましても、実際に実行しなければ意味がないので、その実行の部分として進捗管理についてご審議いただくこととしてしております。皆様には、忌憚のないご意見をいただきますようお願い申し上げます。開会に当たりましての挨拶とさせていただきます。</p> <p>どうぞよろしくお願いいたします。</p>
<p>〔委員・職員紹介〕</p>	
<p>政策企画課 課長</p>	<p>続きまして、委員の皆さんの紹介をさせていただきます。</p> <p>時間の都合上、私からお手元の名簿の順にご紹介させていただきます。</p> <p>(委員を名簿順に読み上げて紹介)</p> <p>本日の出席委員は22名、欠席委員は3名ですので、審議会条例で定めております会議の開催要件の過半数を満たしておりますので報告します。</p> <p>また、浜田市職員につきましては、お手元の名簿で紹介に代えさせていただきます。</p> <p>なお、市長は、他公務のため、ここで退席させていただきます。</p>
<p>2 会長及び副会長の選出</p>	
<p>政策企画課 課長</p>	<p>続きまして、この審議会の会長と副会長を選出いただきたいと思います。</p> <p>選出に当たりまして、まずは、当審議会の概要を説明させていただきます。</p> <p>お手元の資料1「浜田市総合振興計画審議会条例」をご覧ください。</p> <p>審議会条例の第1条（目的及び設置）で、「浜田市の総合振興計画に関し必要な調査審議を行う」としてしております。具体的には、昨年度策定しました「第2次浜田市総合振興計画」及び「浜田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」につきまして、計画策定にご協力いただきました審議会委員の皆様へ、引き続き進捗管理についても携わっていただくため、計画の進捗状況の検証や見直し案の審議をいただくこととなります。</p> <p>また、今年度は新たな「浜田市定住自立圏共生ビジョン」の策定も予定しております。これは、浜田市の各自治区が連携して魅力あふれる地域、定住自立圏を形成することを目的としたもので、策定にあたっては、民間や地域の関係者との協議を行うこととなっております。この度は「第2次浜田市総合振興計画」に即した内容で策定いたしますので、審議会委員の皆様のご意見をいただきたいと思います。</p> <p>第2条（組織等）では、審議会は、25人以内の委員で組織するとしております。</p> <p>審議会委員は、</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 識見者として3名、 (2) 関係行政機関の委員及び職員として1名、 (3) 公共的団体の代表として10名、 (4) その他市長が特に必要と認める者として11名、 <p>以上、合計25名の委員でご審議いただきます。</p> <p>第3条（任期）では、委員の任期を「総合振興計画に関する調査審議に要する間」としており、今回は両計画の進捗管理が始まる平成28年度、平成29年</p>

	<p>度の2年間を期間としております。</p> <p>第4条（会長及び副会長）では、「審議会に会長及び副会長1人を置き、委員の互選によりこれを定める」こととなっております。また、「2 会長は、会務を総理し、審議会を代表する」、「3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する」、さらに、第5条（会議）では、「審議会の会議は、会長が招集し、会長がその議長となる」こととしております。</p> <p>以上が、審議会の概要です。</p> <p>ここまでで、ご質問はありませんでしょうか。</p> <p>（質問なし）</p>
政策企画課 課長	<p>それでは、会長と副会長を互選により選出していただきたいと思いますが、選出方法につきまして、ご意見などがありましたらお願いします。</p>
藤本委員	<p>本日、この会に出席するに当たりまして、事前に資料を送っていただきました。それを見ますと、本日この場で会長及び副会長を互選することになっており、先ほど名簿もいただきましたが、今回の審議会は、昨年度計画策定を行いました。その進捗管理についても携わるとい趣旨のもので、審議会委員も25名中21名が昨年度から引き続いて選任されています。そういったことから、今回の審議会におきましても、会長に島根県立大学の林先生、副会長に同じく島根県立大学の田中先生にお願いできれば、これまでの経緯もよく御存知ですし、円滑な審議が可能だと思ひ、提案させていただきます。</p>
政策企画課 課長	<p>只今、藤本委員から、昨年度と同様に、会長には島根県立大学教授の林先生に、副会長には同じく島根県立大学准教授の田中先生にというご提案をいただきましたが、皆様いかがでしょうか。</p> <p>（拍手）</p> <p>それでは、皆様の拍手をいただきましたので、会長は林秀司委員に、副会長は田中恭子委員に決定いたしました。</p> <p>それでは、林会長と田中副会長には、席を中央に移動していただきまして、ごあいさつをいただきたいと思ひますので、よろしくをお願いします。</p>
会長	<p>只今、会長に選んでいただきました、林でございます。</p> <p>この審議会は昨年度からの引き続きでございます。私も含めて21名の委員が引き続きの参加となりますので、よろしくをお願いします。それから新たに4名の委員の皆様をお迎えしておりますので、改めましてよろしくをお願いします。</p> <p>この審議会は、昨年度策定しました「第2次浜田市総合振興計画」及び「浜田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の進捗管理を行っていくこととなります。総合戦略は制度的にも進捗管理が求められており、そして総合振興計画についても、昨年度の議論から進捗管理が重要であろうということから、引き続きこの審議会で進捗管理を行うということで、本日が第1回の審議会となります。</p> <p>それからもう一つ、昨年度審議会に計画策定に関わった経験から、私達の審議会が少しでも次の総合振興計画に何かを残していきたいという思いもございませぬ。</p> <p>微力ながら会長の責を全うしたいと思いますので、皆様どうぞご協力賜りますようよろしくお願いいたします。</p>
副会長	<p>同じく島根県立大学の田中と申します。昨年度に引き続き副会長を仰せつかりました。</p>

	<p>昨年度までは皆様と一緒に浜田市の総合振興計画を策定するという作業をさせていただきましたが、今年度は実行と進捗管理という、より重要な局面を迎えています。昨年度以上に皆様方のお知恵をお借りしながら、私も新たな気持ちで取り組ませていただきますので、何卒よろしくお願ひします。</p>
政策企画課 課長	<p>ありがとうございました。 では、ここからの進捗は林会長にお願いいたします。</p>
3 議題	
(1) 総合振興計画及び総合戦略の進捗管理について	
会長	<p>それでは、議事進捗をさせていただきますので、皆様のご協力をお願いいたします。座って進捗させていただきます。</p> <p>まず議題(1) 総合振興計画及び総合戦略の進捗管理について、事務局から説明をお願いします。</p>
政策企画課 課長	<p>資料2をご覧ください。</p> <p>まず、総合振興計画の進捗管理についてです。総合振興計画につきましては、主要施策ごとに具体的な数値目標を掲げておりますので、年度ごとにその進捗状況を調査し、達成状況をまとめます。なお、昨年度策定しました「第2次浜田市総合振興計画」は、計画期間が今年度からとなっておりますので、その進捗管理につきましては来年度から行うこととなります。今回は、昨年度までが計画期間となっていました、一つ前の計画、「浜田市総合振興計画後期基本計画」についての達成状況を資料3にまとめていますので、後程説明いたします。</p> <p>次に、総合戦略の進捗管理についてですが、総合戦略は第2次浜田市総合振興計画から人口減少対策に関する事項を抽出して策定しています。その基本目標の数値目標やKPI（重要業績評価指標）の数は資料のとおりですが、これらについて前年度末の達成状況を調査し内部評価を行い、それについてこの審議会で検証及び意見交換等を行いたいと思ひます。総合振興計画と異なり、計画期間が平成27年度からとなっており、既に昨年度中に始まっております。総合戦略につきましては、昨年度末の達成状況を資料4にまとめていますので、後程説明いたします。</p> <p>次に、進捗管理体制についてですが、内部体制につきましては、市長をトップとする人口減少問題対策本部で、また、外部体制につきましては、この浜田市総合振興計画審議会を今年度からも引き続き設置し、総合戦略も含めて、進捗管理及び検証、並びに見直し案の審議を行っていただくこととしております。</p> <p>裏面をご覧ください。今後のスケジュールにつきましては、既に昨年度末の達成状況等をまとめて6月議会に報告しております。本日この審議会で諮ってご意見を伺ひ、その結果、総合戦略の達成状況の評価について見直し等が必要になれば、再度内部協議を行い、第2回の審議会を来月開催する予定にしておりますので、そちらにお諮りします。それを踏まえた評価報告書を決定し、9月議会及び国に報告する予定にしております。</p> <p>また、進捗管理の評価やいただいた意見で来年度の予算に反映できるものは反映させ、PDCAサイクルによる見直しを図っていく予定としております。</p>
会長	<p>只今、ご説明いただきましたが、委員の皆様からご意見やご質問があればお願いします。</p>
	(発言なし)
会長	<p>よろしいでしょうか。具体的な進捗管理方法や体制、平成28年度のスケジュールについて、基本的にこのとおり進めることとします。</p>

(2) 浜田市総合振興計画後期基本計画の進捗状況について（報告）

会長	続きます。議題(2) 浜田市総合振興計画後期基本計画の進捗状況について、事務局から説明をお願いします。
政策企画課 課長	<p>資料3により、浜田市総合振興計画後期基本計画の昨年度末の進捗の状況をご説明します。</p> <p>後期計画では69項目の代表的な目標を設定していただきましたので、その項目について達成率を求めて、AからEの5段階の評価をいたしました。その結果、達成率が100%以上のA評価が33項目、50%から100%未満のB及びC評価が33項目、50%未満のD及びE評価が3項目でした。昨年度、第2次浜田市総合振興計画の策定に先立ちまして、平成26年度末の進捗状況をまとめてお示ししました。その平成26年度末の評価は、A評価が31項目、B及びC評価が34項目、D及びE評価が4項目ということでしたので、A評価が増えて、それ以外の評価が減っているという状況になります。</p> <p>(2)に、まちづくりの大綱ごとの代表的な目標の評価をまとめております。平成26年度末の評価と比べて項目の数が増減した箇所につきましては、平成26年度末の項目数を括弧書きで示しております。具体的に見ていきますと、「Ⅱ教育・文化部門」では、全部で9項目あるうち、A評価が4から6に増え、B評価及びC評価が2から1に減っています。また、「Ⅳ産業・経済部門」では、A評価が6から5に減り、逆にB評価が5から6に増えています。「Ⅵ市民活動・定住部門」では、9項目のうち、A評価が4から5に、B評価が2から3に増え、C評価が2から1に、D評価が1から0に減っています。</p> <p>この代表的な目標の評価が変わった項目を見ていきます。3頁をお開きください。なお、評価が変わった項目につきましては、先程と同様に、前回の評価を括弧書きで表しております。「教育・文化部門」の「2 生きる力を育む学校教育の充実」の「①小・中学校施設の耐震化率」は、前回平成26年度末が96.0%でB評価でしたが、今回平成27年度末は100.0%でA評価となりました。</p> <p>次に「3 生涯を通じて活動できるスポーツの振興」の「②JFA夢の教室の開催回数」も、前は1回で50.0%のC評価でしたが、今回は2回の開催で100.0%となりA評価となりました。</p> <p>次に5頁をお開きください。「4 浜田港・三隅港を活かした産業の振興」の「①取扱いコンテナ数」は、前回は3,414TEUで達成率136.6%のA評価でしたが、今回は2,481TEUで目標を若干下回り、達成率99.2%のB評価になりました。</p> <p>次に7頁をお開きください。「2 定住対策の推進」の「①空き家バンク成約件数」は、前回は38件で42.2%のD評価でしたが、今回は46件で51.1%のC評価になりました。</p> <p>また、「②はまだ暮らし体験事業参加者数」も、前回は16人で53.3%のC評価から、今回は29人で96.7%のB評価へと評価を上げております。</p> <p>その下の「5 男女共同参画社会の形成」の「①審議会等への女性参画率の達成率」は、前回は72.0%でC評価でしたが、今回は80.5%でB評価へと評価を上げております。</p> <p>その下の「6 交際交流・地域間交流の推進」の「①各種国際交流事業への参加者数」ですが、前回は1,643人で達成率91.3%のB評価から、今回は1,908人に増え、達成率106.0%のA評価になりました。</p> <p>1頁に戻ってください。先程もご説明しましたとおり、今回も残念ながら達成率50%未満のD・E評価となった目標が3項目あります。まず3頁をお開きく</p>

	<p>ださい。「3 生涯を通じて活動できるスポーツの振興」の「③総合型地域スポーツクラブの数」ですが、目標の 10 クラブに対して前回も今回も 4 クラブのまま、40.0%のD評価のままです。そうなった理由は下に説明がしてありますが、会員と運営費の確保が課題で、新たな設立が困難な状況にあるということでございます。</p> <p>次に 4 頁をご覧ください。「2 環境保全の人づくり・地域づくりの推進」の「②こどもエコクラブ登録団体数」が、目標の 10 団体に対して前回も今回も 1 団体のまま、10.0%のE評価のままです。その理由は書いてありますとおり、子どもの数が減ることに伴い退団する団体があることや、継続して活動する団体の確保が難しいといったことがあります。</p> <p>もう 1 つが 6 頁です。「2 利便性の高い公共交通の確保」の「③交通空白地域の数」です。これは、10 か所ある交通空白地域を 0 にするという目標でしたが、交通空白地域をなくすに至っておらず 10 か所のまま、達成率も 0.0%のE評価のままです。集落数で見ると減少しているのですが、地区でみると減少には至っておりません。今後は移動手段を必要としている方への敬老乗車券交付事業を行って、交通弱者に対する支援を行うこととしております。</p> <p>表紙に戻りますが、全体としましては目標を達成したA評価が半数に至っていないこともあり、決して十分とは言えませんが、前回と比べましても評価が上がっていることから、今後は第 2 次浜田市総合振興計画に掲げた目標達成に取り組んで参りたいと思います。</p>
会長	<p>只今、ご説明いただきましたが、委員の皆様からご意見やご質問があればお願いします。</p>
玉置委員	<p>7 頁の「5 男女共同参画社会の形成」の「①審議会等への女性参画率の達成率」の目標値が 100.0%で達成率 80.5%とありますが、具体的にはどういうことでしょうか。</p>
総務部 部長	<p>この後期基本計画策定の際の、目標全体の達成率（女性参画率）を 35%としていました。平成 27 年度の女性参画率の実績値が 28.2%でしたので、$28.2\% \div 35\% = 80.5\%$という数字を出しています。</p> <p>新しい総合振興計画を策定するに当たって、この目標は同じように掲げていますが、数字の出し方が少し分かりにくいということで、新しい総合振興計画では女性の参画率そのものを目標値としております。</p>
玉置委員	<p>もう一つ、数字についてですが、5 頁の「5 地域資源を活かした観光の振興」の「②宿泊客数」ですが、平成 27 年度実績値が 120,311 人になっていますが、次の「浜田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の 3 頁にやはり「5 観光・交流の推進」で「④宿泊客数」がありますが、平成 27 年度実績値が 261,930 人とあります。多分計算の仕方が違うのだと思いますが、浜田市の宿泊客数は 12 万人なのか 26 万人なのか、明らかにしていただけると助かります。</p>
産業経済部 部長	<p>総合振興計画の 12 万人という数字は、今までの指標の出し方である観光動態で出しておりました。この出し方が、今までの目標と実績値の出し方になっております。今回、総合戦略の 261,930 人の出し方は、実際に具体的な数字を出そうと、全市内、全自治区から、51 施設だったと思いますが、全部調査をさせていただいて、詳細な宿泊者数を入れていただきました。今までの観光動態は、主な施設をピックアップした形で出しておりましたので、実際の宿泊者数は倍以上になりました。今後、実際に宿泊者数を把握する時には、こちらの新たな指標を採用することにしており、大変ご迷惑をおかけしました。</p>

玉置委員	では、浜田市の宿泊客数は年間 26 万人ということで分かりました。
佐々木大輔委員	<p>3 点ほど確認させてください。</p> <p>まず、K P I での分析をするというのは、外的要因と内的要因は分けて分析すると思います。今回ここに書いてある理由・説明は、基本的に外部の要因だけ書いてあるのかなと思いました。例えば、組織間の連携が上手くいったかとか、役割の設定がどうだったかとか、内部の要因が全くなかったのかが気になります。</p> <p>あと、P D C A の A の部分ですが、A c t（改善）の部分で、この報告の中に全く書いてなくて、どう改善して行くかがなくて、P D C A の C で止まっているのかなという印象があります。</p> <p>3 点目として、A c t の部分について、第 2 次浜田市総合振興計画に反映することは予定されていますか。</p>
政策企画課課長	<p>K P I の内的要因と外的要因についてですが、確かに今回目標に挙げているものの要因につきましては、委員がおっしゃられるように、外的要因が中心になると思います。</p> <p>A c t i o n の部分ですが、資料 2 に挙げているところで、A c t i o n につきましては、審議会あるいは議会でいただいた意見を基に、各部署において計画ないし取組の中で対応していこうということで、来年度の予算編成や長期間に渡る事業の展開について財政課と協議をするサマーレビューにおいて、見直しを検討していくこととなります。</p> <p>第 2 次浜田市総合振興計画への反映については、この総合振興計画自体は議会の議決をいただいて策定したものですので、余程のことがない限りこれを見直すということは想定しておりませんが、各部署が行う取組の中で、先程言いましたように、いただいた意見を反映していくことになるかと思えます。</p>
会長	<p>一つ前の総合振興計画から第 2 次の総合振興計画への継承の部分は、私たち本審議会がもう少し意識していなければならなかったことかもしれません。</p> <p>もう一つ重要な指摘があって、外的要因と内的要因があり、今回は外的要因は示されているが内的要因はなかったのかという点ですが、努力をしてもいかんともしがたい部分があることは確かだと思いますが、内的に工夫することのできることはなかったのかは考える必要があると思います。これからの新しい総合振興計画あるいは総合戦略の中では、その辺も考えていければと思います。</p> <p>そのほか意見はございませんでしょうか。</p>
	(意見なし)
会長	この議題については、度々申しておりますが、一つ前の計画でございますので、報告ということでよろしくお願ひします。
(3) 浜田市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況について	
会長	続きまして、議題 (3) 浜田市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況について、事務局から説明をお願いします。
地域プロジェクト推進室専門企画員	それでは資料 4 をご覧ください。浜田市まち・ひと・しごと創生総合戦略掲載目標の進捗状況ということで取りまとめております。昨年度作っていただきました、浜田市まち・ひと・しごと創生総合戦略は、第 2 次浜田市総合振興計画から抽出する形で作っております。先程見ていただきましたのは、その前の総合振興計画でございますので、来年度からはこの総合戦略と総合振興計画で重なるような項目が多く出てくることとなります。先程報告しました総合振興

計画は、5年間の計画期間を終えて、達成率により評価をしていましたが、この総合戦略につきましては、同様にAからEの5段階の評価をしておりますが、まだ初年度ということもありまして、5年後の目標に対する達成率では順調かどうか分かりにくいということで、今の状況で達成率に関わらず、順調に進んでいるかでABCDEと判定しております。

1頁に調査結果とありまして、最初に「基本目標」の「数値目標」の進捗状況とあります。総合戦略は、大きく4つの柱があります。そこに記載がありますとおり、「産業振興と企業立地による雇用の創出」「子どもを安心して産み育てる環境づくり」「U・Iターンや定住の促進とふるさと郷育の推進」「地域の特性を活かした安心して暮らせるはまづくり」の4つの柱に対しまして、数値目標を、1点目については4つ、それ以降は1つずつ設定しております。それに対する評価の状況はご覧のとおりです。そして、その4本の柱の中には、さらに小分けにした施策を掲げておりまして、それぞれにKPI（重要業績評価指標）を設定しております。それがトータルで53項目ございまして、進捗状況をABCDEまでの段階で評価した結果をまとめておりますが、A評価が38項目で全体の71.7%、B評価が6項目で11.3%、合わせますと8割強ということで概ね順調に進んでいるのではないかと考えております。その下、(3)平成26年度地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金とありまして、ちょっと分かりにくいですが、これはいわゆる地方創生の交付金を国が設定しておりまして、その交付金を活用した事業について、同様に評価指標を設定して、ここに評価を挙げているものでございます。交付金を活用した事業は、そこにありましており合計15の事業がございまして、それぞれに同様にABCDEの評価をしておりますので、後程説明させていただきます。

それでは早速中身に入っていきます。2頁をご覧ください。最初に「基本目標1 産業振興と企業立地による雇用の創出」について説明させていただきます。ここには大きな数値目標4点のうち、3つ目の「企業立地優遇制度による雇用創出数」がD評価となっております。平成27年度現状値、新たな雇用創出数が0ということですが、説明として文章がございまして、平成27年度対象企業が1社ありましたが、その新規採用がなかったということで0人となっております。ただし、平成28年度対象企業2社、ともに3人前後採用予定という道筋も付いておりますので、今回進捗評価としてはD評価としております。

次に個別の施策に入っていきます。「1水産業の振興」の「②まき網漁業構造改革取組統数」につきましては、平成31年度の目標を2ヶ統としておりますが、平成27年度現状値は0ヶ統ということになっております。説明にありますように、事業実施に向けて説明は行っているが結果的に事業着手に至っていないということで、進捗度合としてはC評価としております。

「④高度衛生管理型荷捌所整備率」が、平成27年度現状値が0%で進捗評価がAとなっております。これがなぜかと申しますと、下の説明にありますとおり、平成27年度は基本計画の策定、それから、まき網用は平成28年度以降に設計・建設というように、順調に予定どおり進んでおりまして、平成27年度現状値は荷捌所の整備率としては0%ですが、平成31年度の整備率70%に向けて順調に進んでいるということで、進捗評価としてはA評価を入れております。

この「1水産業の振興」の一番下、「⑨漁港海岸長寿命化計画策定箇所数」につきましても順調に進んでおりまして、平成29年度の計画策定に向けて協議を進めており、進捗評価としてはA評価としております。

次に「2 農林業の振興」の「①新規就農者の新規認定数」ですが、就農計画が新たに認定された農業経営体数につきまして、平成 31 年度まで毎年 1 経営体を目標としておりましたが、平成 27 年度は 0 経営体ということでした。説明のところにありますとおり、専業の新規就農者は 0 名ですが、いわゆる半農半 X、兼業での就農者は 4 名あったということで、進捗評価は C としております。

3 頁一番上に「⑤苗木生産量」の K P I がございますが、コンテナ苗等の苗木生産量についてです。平成 27 年度現状値 12,305 本と、平成 26 年度基準値よりも下がっております。説明にありますように、各年度の造林事業量に応じた生産ということで、全体として造林事業の事業量の縮小傾向の中、この苗木生産量も減少したという状況がございまして、進捗評価としては D 評価としております。この 3 頁では、以下 C 評価のものは数値が下がっているものということでそれぞれ評価を入れております。

4 頁に移ります。「基本目標 2 子どもを安心して産み育てる環境づくり」の項目ですが、こちらの大きな数値目標として「出生数」を掲げております。平成 26 年度基準値は 442 人でしたが、平成 27 年度は 407 人と数字が下降してしまいました。これまでの推移を申しますと、平成 25 年度が 415 人、平成 26 年度が 442 人と増加したところですが、平成 27 年度に再び下降したものでございます。長期的な出生率増加に向けた環境づくりの取組を進める必要があると考えております。

中身の施策ですが、「1 健やかな育ちに向けた支援」の「①子育て世代包括支援センター（仮称）の施設」が平成 31 年度までに 1 か所を整備するというところで、平成 27 年度時点では 0 か所ですが平成 28 年度開設に向けて予算や人材の確保はできているということで、進捗評価としては順調に進んでおりまして、A 評価としております。

5 頁に移りまして、「基本目標 3 U・I ターンや定住の促進とふるさと郷育の推進」のところでございます。大きな数値目標として「社会増減数（転入－転出）」でございますが、浜田市はずっと社会減という減少の状況が続いております。平成 26 年度△319 人となっておりますが、平成 31 年度には△260 人まで、減少の幅を減らしていこうという目標でございます。平成 27 年度につきましては、逆に平成 26 年度よりも悪化したということで、進捗評価 D としております。下の説明にありますように、平成 26 年度と比較しますと、平成 27 年度は、転入は 79 人増えたものの転出は 149 人増加しているということで、市外への転出を防ぐ施策が重要となっているところがございます。ここで設定しております「1 人がつながる定住環境づくりの推進」それから「2 ふるさと郷育の推進」、それぞれ K P I の進捗評価としては、A ないし B と、順調に進んでおります。

6 頁に移りまして、最後の「基本目標 4 地域の特性を活かした安心して暮らせるはまちづくり」につきましては、大きな数値目標として「地区まちづくり推進委員会の組織率」を挙げておりまして、平成 26 年度と同じく、平成 27 年度現状値 66% となっております。平成 28 年度より未組織地域においてまちづくり推進委員会を組織するように調整中でありまして、進捗評価は A としております。

その下「1 地域コミュニティの形成」の「②人材育成研修会等の開催回数」は、平成 26 年度基準値が 2 回、これを平成 31 年度には 5 回と掲げておりましたが、

	<p>平成 27 年度現状値は逆に 1 回と減少したところでございます。こちらは地域リーダー育成に関する研修会の年間開催回数ということで、浜田市全体で人材育成研修等を考えておりましたが、説明にありますように、平成 28 年度からはその内容を見直して実施を検討しております。その他、この基本目標 4 の各項目については、A ないし B と順調に推移しているところでございます。</p> <p>最後の 7 頁「地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金」ですが、先程申しましたように地方創生の交付金を使った事業に設定した K P I の状況でございます。「1 基礎交付分」「2 上乘せ交付分 (タイプ I)」「3 上乘せ交付分 (タイプ II)」と種類がありますが、国の交付金の種類によって分けたものでございます。「1 基礎交付分」の「④産前産後家事援助ヘルパー派遣事業」は、平成 27 年 6 月から新たに事業を開始したものでございますが、平成 27 年度中の目標値としましてヘルパーの派遣を 495 回という目標を設定しておりましたが、結果、16 名の登録はありましたが、実際の利用は 4 回と利用回数が低く、D 評価としております。今後利用促進のため、登録者への意向調査等を実施して利用者が増える取組を検討していくこととしております。</p> <p>一番下の表「3 上乘せ交付分 (タイプ II)」の「②温泉水有効活用事業」、これは旭温泉の温泉水を有効に活用していこうということで、市内の創業者数 1 者を目標としまして実施したものでございます。説明にありますように、「旭温泉水有効活用事業起業プランコンテスト」を実施しまして、1 つの起業提案を採用しておりますが、平成 27 年度中の起業には至っておらず、また、提案採用も最優秀賞には至らず優秀賞としての採用ということで、進捗評価としては 0 者に対して C 評価としております。その他、交付金につきましては、A・B 評価ということで概ね順調に進んでいるものと考えております。</p> <p>最初に申しましたように、5 年間が終わりました先程の総合振興計画とは少し違った見方で進捗評価を今回は入れております。指標、項目だけということで、分かりにくい部分もあったかと思いますが、資料を事前送付させていただいておりますので、全ての項目についての説明は省略させていただきます。</p>
会長	<p>只今、ご説明いただきましたが、委員の皆様からご意見やご質問があればお願いいたします。</p>
玉置委員	<p>3 頁の「3 商工業の振興」で「開業企業数」とありますが、この「開業」とはどのような意味でしょうか。創業ではないのですよね。</p>
産業経済部 参事	<p>ここで言う「開業」とは、空き店舗を利用して新たに起業しようとか、新たな投資によって事業をやってみようといったものを「開業」として挙げております。</p>
玉置委員	<p>分かりました。初めて聞いた言葉だったので伺いました。</p> <p>もう一つ、数字の質問ですが、5 頁の真ん中辺りに「⑤婚活イベント参加者数」が挙がっておりまして、平成 27 年度現状値 374 人となっておりますが、7 頁にも「③婚活イベントへの参加者数」が出ており、そこでは 166 人なのですが、これはどういうことでしょうか。</p>
政策企画課 企画係長	<p>婚活イベント参加者数の違いについてでございますが、5 頁の方は、市の主催の事業と、市内には婚活をされているボランティア団体等もありまして、そちらのイベントに参加された方も含めた数字が 5 頁の方に挙がっております。7 頁につきましては、交付金を使った事業ということで、市主催の事業のみのイベントに参加した数としておりますので、その違いとなっております。</p>
玉置委員	<p>分かりました。交付金のことということで、それは見ただけでは分かりませ</p>

	<p>んね。</p> <p>あと内容についてですが、4頁の「子どもを安心して産み育てる環境づくり」では、「出生数」を評価としてCとしているのは、一旦増加したけれどもまた下がってしまったという説明がありました。下の項目はAが3つとCが1つです。各施策は一生懸命やっているけれども出生数は下がってしまったということで、出生数というのは、これをやったからこれだけ増えるという訳にもいかないのです。ここの評価をするときに、例えばBではいけないのか、これだけ努力しているけれども結果として現れなかったということもあり得るし、そういう意味ではもう少し長期的な視点に立った評価が必要で、簡単にBとかCとか言えないのではないかと、難しいところだと思いました。評価というのを具体的に何かをやった結果として見ておられるなら今の疑問にぶつかってしまうのですが、もう少しきめ細かく、例えば母親になった女性に直接面接やインタビューをして具体的にどういう支援が役に立ったかとか、そういう細かい調査をして分析することが必要ではないかという気がしました。</p> <p>それから、ちょっと同じようなことですが、5頁の「U・Iターンや定住の促進とふるさと郷育の推進」についても、下の項目は全部AやBで非常に優秀な評価が並んでいるのに対して、「社会増減数」を見た時にDの厳しい評価をしておられます。これも、これをやったからこれだけ増えるはずだという訳にはいかないですが、転出する方は、学校を卒業して就職する、ないしは転勤、結婚で市外に出るといふやむを得ない理由があると思います。もちろん地元の学校を卒業して地元で就職する若者が増えれば、それが望ましいことだとは思いますが、一方で、個人的には、若い人が一旦都会に出て色々なことを経験し学ぶことによって、ふるさとの良さを改めて認識するということが十分にあると思いますので、あまり若い人が転出するということが自体は、悲観的には考えておりません。むしろ、その方々が何年か後にふるさとに帰って働きたい、家族を育てたいと思えるほどまちが魅力的であれば、十分に希望が持てるのではないかという気がしますので、外にいる人を呼び寄せる、U・Iターンの力をもう少し促進することが重要ではないかと思います。</p> <p>そう考えますと、この「人がつながる定住環境づくりの推進」ではかなり成果を上げておられるようですが、目標を超えている項目もありますので、目標値を上げられますか。今の評価でやると、目標が低いのかもかもしれませんね。総合的な評価（基本目標の評価）と下の項目の評価が連携していないように齟齬を感じました。</p>
<p>会長</p>	<p>基本目標の数値目標とその下に掲げられているK P Iとの整合性がどうかという点と、目標値を修正することが制度上からもできるのかという点について、事務局からお願いします。</p>
<p>地域プロジェクト推進室 室長</p>	<p>基本目標を達成するために個々の事業を考えていきますが、なかなか人口減少は簡単に効果が表れるものではないので、こういうことを長年繰り返すことで徐々に表れていくのではないかと思います。したがって、1年目である今回のギャップが大きいというのはやむを得ないという気がしております。</p> <p>K P Iの設定については、実績値ではなく順調に推移しているかで評価しますが、当然、出生数がどうかとか社会増減がどうかというのは、実際のデータに基づいて判断しているので、簡単にこれは順調ですと言えるものではなく、そのギャップはあるだろうと思います。</p> <p>ただ、そうは言っても既に目標値を達成している目標をどうするかというこ</p>

	<p>とについては、議決を要するものでもありませんし、総合戦略はもう少し柔軟対応し、既に達成した目標については見直すということもあって思っていますので、その辺りも含めてこの審議会でご意見を頂戴できればありがたいと思っています。</p>
会長	<p>総合戦略に関しては中間での見直しも可能かもしれないということですが、一方で、総合振興計画については議決が必要になりますが、その辺のことはどうでしょうか。</p>
地域プロジェクト推進室室長	<p>総合戦略は総合振興計画の中から抽出したというスタート地点にはなっておりますが、総合戦略は特にこの5年間の人口減少問題への対策が重要であることから取り組んでいくもので、1年早くスタートしておりますけれども、その状況によって総合戦略と総合振興計画に掲げている内容がずれてくることもやむを得ないと思っています。ただ、総合振興計画は後期基本計画がありますので、例えばその後期基本計画を策定するときに、この5年間をまとめて反映させるということで了解がいただけるのであれば、抽出した総合戦略の目標も多少変えていくこともあろうかと思えます。</p>
地域政策部部長	<p>総合振興計画には143の目標値を入れております。皆様と一緒に作らせていただき、項目も新たに見直しております。ただ、総合振興計画は平成28年度から6年間ということで平成33年度を目標としております。今ご覧いただきました総合戦略につきましては、平成31年度の目標ということで、その目標値に対しても年度のずれがあります。総合戦略につきましては、室長が言いましたように、目標を達成しているものがあればそれを上げていくということは可能だと思いますけれども、ベースは総合振興を基に作っておりますし、目標年度が若干違っておりますので、その辺の調整は可能かと思えますけれども、基本は総合振興計画に基づくとということでやっていきたいと思えます。</p>
会長	<p>もう一つ私の方から。数値目標の進捗評価は、平成31年度目標値を見据えて、平成27年度現状値を評価した時の進捗評価ということでよろしいでしょうか。</p>
地域プロジェクト推進室室長	<p>先程も申し上げましたが、平成31年度の目標値に対して現時点の現状値がどうなっているかということを実績だけで評価すると、1年目が始まったばかりで事業が順調かどうかなかなか判断し難いということで、例えば実績値が足りていなくても順調であれば良い評価をしています。見ていただきますと、それぞれの項目の中に説明書きがあるものとないものがあります。基本的に説明書きを加えているものは、CやDというあまり評価が芳しくないものと、AやBの高評価であっても実績値を見ると、ちょっとこれ矛盾があつて分かりにくいなというものについて、順調である理由を説明書きで加えておりますので、その辺りを、評価を出した経緯としてご覧いただければありがたいと思えます。</p>
地域政策部部長	<p>先程の玉置委員からの質問で、数字のことは説明させていただきましたが、社会増減のところの、学卒者を残すということも大事だけれど一度出られた方を帰すことが大事ではないかということについてです。定住対策等やっておりますが、おっしゃられたことは非常に重要なことだと思っております。どうすれば外へ出られた方が帰ってきていただけるかということで、まず一つは働く場所を確保することは必要です。もう一つ、子ども時代のふるさと郷育、浜田の良さを伝えるということが重要ではないかということで、教育委員会の方で特に小学校高学年ぐらいの子どもさんへのふるさと郷育が、将来地元を愛することに繋がるのではないかという観点で、新しい人物読本を作ったり、色々な取り組みをしながら、Uターンの方を増やすということで、1回は外に出たけれど</p>

	<p>やっぱり浜田に帰りたいという気持ちを持っていただき、それを実際に受け入れるための仕事づくりをするという観点で、なんとかUターンを増やしていきたいということで、まだ成果は十分には出ておりませんが、そういうつもりで取り組んでおります。</p>
三浦委員	<p>5頁の一番上の転入転出のことについてですが、説明書きのところ、転入は76人増えたものの転出が149人増えたということでしたけれども、その理由について市としてはどのように把握されているのか伺います。</p>
地域政策部 部長	<p>転入転出には色々な理由があると思います。実は以前は、毎月の人口動態を庁議という場で報告しておりましたが、これは住民票を受け付ける担当課で行っておりました。ただ、それがどうしてかということが十分には理解できておりませんでしたので、昨年の秋からその理由も全部拾い出して、例えばどこの県からどういう理由で来られたかや、どこへどういう理由で出られたかという調査を毎月行い、それを積み上げていながらどういう対策を打ったらいいかを調整しております。やはり多いのは転出の中で就職などが多いですが、今日たまたま6月分の報告をしたのですが、この4～6月は転出より転入が少しずつ増えています。偶然かもしれませんが、そういう面です。まずそういう事由を踏まえながら、では働く場所がないから転入が少ないとかチェックをしようということです。具体的に一つこれがこうだからということにはなっておりませんが、そういう分析をしながら、毎月それを積み重ねていくことで、転入転出の動向を見極められれば、その対策もとれるのではないかと思います。</p>
三浦委員	<p>戦略を立てる上でも大事なことだと思いますので、しっかり把握をしてもらいたいと思います。プライベートな問題もありますので、なかなか難しいかもしれませんが、是非とも努力していただきたいと思います。</p> <p>もう一点、評価についてですが、数字を基にABCDEの5段階評価になっておりますが、少々乱暴ではないかという気がします。数字が小さいもの、例えば目標値が2であるものでは、1達成すれば50%と、単純にそういうことになります。もう少し段階を増やして評価をするのはどうでしょうか。50～100%がB評価というのではいささか乱暴であるように思います。じゃあ90%ではだめなのか、80%はどうか、努力をしたけれども80%、90%しか行かなかったというのは、ある程度は評価されてしかるべきだという気がします。従いまして、5段階評価をもう少し、段階を増やされてはいかがかと思っております。</p>
会長	<p>評価については委員のみなさんでもご議論いただきたいと思いますが、まずは事務局の方から評価の仕方について改めていかがでしょうか。</p>
地域プロジェクト推進室 室長	<p>今回の総合戦略の評価は、資料4の表に書いてありますとおり、数値を基にして評価をするだけでは、初年度ということで今の進捗度合いが分かりにくいということがありましたので、ある程度その辺は意識に入れながらも、その計画の順調さを5段階で評価させていただきました。従って、三浦委員さんご指摘の、達成率についてももう少し細分化するかという点については、来年「第2次浜田市総合振興計画」の評価も始まりますし、そのようなタイミングでどうしていくかというのを、委員の皆様にもご議論いただき、ご示唆をいただければありがたいかなと思います。</p>
会長	<p>確かに、第1次の総合振興計画につきましては数値で評価をしてきたというところがございしますが、第2次の総合振興計画についてはどうしていくかというところにつきましては、皆様のご意見をいただきたいと思っております。</p> <p>これに関連して、また、その他の観点からでも、何かありますでしょうか。</p>

佐々木大輔 委員	K P I の分析の仕方ですが、まず、私は 5 段階で十分だと思っています。あとは、A B C D E をどういう基準にするかということで、一般的には達成率、パーセンテージを用います。なので、今この資料に書いてあります、日本語で曖昧にしてある部分はいらないと思っています。明確に進捗率で分析しないと、これだけのボリュームですので定量的に分析できないと思います。5 段階の中で線引きを明確にして数字で判断するというようにして、全体を分析することがいいのかなと思います。
佐々木重盛 委員	私も現在出されている評価方法で良いと思います。あまりにも多くの項目がございますので、一律の評価ではなじまない部分もあるかもしれませんが、だからといって項目ごとに評価基準を変えるようなことでは混乱を招きますし、見える化という意味でこのような K P I を使って評価をするという訳でございますので、項目によってはひっかかるものもあるかもしれませんが、それも一つの見方ということで良いのかなということです。要は内容が判断できれば良いということになると思います。
会長	改めて評価方法について、事務局から発言がございますか。
地域プロジェクト推進室 室長	ご指摘いただきましたように、今回の評価は多少主観が入りやすかったのではないかと考えております。実績値を基に評価するというのも、数字を見る上では効果的なやり方と思いますが、今回始まって 1 年経ったと言いながら、昨年の 10 月に策定した計画ですし、その期間もあまりにも短いということもありましたので、このような評価手法を取り入れさせていただきました。来年度以降、総合振興計画の評価も合わせてやっていくこととなりますので、今いただいた意見は参考にさせていただいて、来年度そのようなやり方でやるかというのはもう一度ご議論いただくということで、できましたら今回はこのやりかたでご了解いただければありがたいかなと思います。
会長	そうしますと、次年度以降、実績値を効果的に評価に取り入れるという方法を研究していくということで、この度はこの手法でいかがかということですね。
地域プロジェクト推進室 室長	また、その辺りのことを委員さんからもご意見を頂戴できればと思います。来年度の評価をどうするかというのは、先程出たご意見を参考にさせていただければというふうに思っています。
会長	よろしいでしょうか。 それを踏まえて、この度の進捗評価、例えばこれは厳しすぎるのではないかと、甘すぎるのではないかとということがありましたら、ご意見をいただきたいと思います。 全体的についてでも結構ですが、いかがでしょうか。
	(意見なし)
会長	それでは、浜田市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況については、原案のとおりで承認いただけるということでよろしいでしょうか。 そうしますと次の議題に移ります。
(4) 浜田市定住自立圏共生ビジョン(案)について	
会長	続きまして、議題(4) 浜田市定住自立圏共生ビジョン(案)について、事務局から説明をお願いします。
政策企画課 企画係長	このビジョンの策定につきましては、 資料 5-1 で全体の概要、 資料 5-2 で共生ビジョンの策定案、そして 参考資料 として前回策定した共生ビジョンを付けております。 では初めに、 資料 5-1 をご覧ください。定住自立圏共生ビジョンにつきます

	<p>では、平成 23 年 3 月に「浜田市定住自立圏共生ビジョン」を策定しております。この計画につきましては、中心となる市と近隣市町村が相互に役割分担し、連携・協力することで地方圏における定住の受け皿を形成するという目的の計画になっております。資料の「1 策定理由」になりますが、この定住自立圏構想につきましては、平成 20 年に国が制定しました要綱を受けて、先程言いました平成 23 年 3 月に「浜田市定住自立圏共生ビジョン」を策定したところですが、この計画期間が平成 27 年度までとなっておりますので、今回計画延長ということで、平成 28 年度以降のビジョンを策定するということです。このビジョンを策定することによって、この計画にあります事業の実施に要する経費の一般財源部分に、国から特別交付税という措置もされることになっております。昨年度についても、この計画に基づいて約 7,700 万円程度の特別交付税の収入になっていますので、財政的にもこの計画を策定するというには必要な位置づけになっております。この共生ビジョンの策定では、そもそも「定住自立圏形成方針」という全体の方針を基にビジョンを策定することになっておりまして、この形成方針は議会の議決事項になっておりますが、平成 22 年の 9 月議会で議決を受けております。今回のビジョンは、この形成方針を基に内容を改めるといったものです。この共生ビジョンは議決事項にはなっておりませんが、策定あるいは変更にあたっては、民間や地域の関係者の方から意見を聞いて反映させることとなっておりますので、この総合振興計画審議会の中でご意見をいただきます。このビジョン策定の概要につきましては、先程申しました形成方針に沿いまして、昨年度策定しました「第 2 次浜田市総合振興計画」や「中期財政計画」から抽出して、整合性を図りながら内容を精査しております。</p> <p>現在の案につきましては資料 5-2 をご覧ください。1 頁には共生ビジョンの基本的事項ということで、名称や構成旧市町村があり、浜田市においては 1 市の中、自治区単位で定住自立圏を構成しております。また、目的あるいは計画期間があり、平成 28 年度から平成 32 年度までの 5 年間とするとしております。2 頁からにつきましては、圏域の概況と将来像ということで、浜田市の人口あるいは分野別の状況等を載せています。13 頁には将来像ですが、浜田市 1 市で定住自立圏を構成することから、総合振興計画と整合を図った将来像になっております。14 頁以降につきましては、細かい内容の説明はいたしません、形成方針等に基づきまして総合振興計画あるいは中期財政計画等で計画している事業を 50 事業程度掲げております。それぞれの事業内容をまとめた一覧が 45 頁からの資料編になります。</p> <p>簡単ですが、資料 5-1 に戻りますが、「3 策定スケジュール」にありますとおり、この審議会での協議を受けた後に策定し、9 月議会で報告し、国にも報告という予定になっております。</p>
会長	<p>只今、ご説明いただきましたが、委員の皆様からご意見やご質問があればお願いいたします。</p>
玉置委員	<p>私はこの「共生ビジョン」なるものを初めてこの度拝見して、こんなものがあったのかと驚きました。色々タイトルは違っても内容は似たようなものがあり、交付税と関係があるということで行政的にはやむを得ないものかもしれませんが、本来から言いますと、私たちが一番拠り所としなければならない「総合振興計画」1 冊にまとめたいところだと思います。</p> <p>ビジョンを国に提出するとおっしゃいましたが、その細かい性格までは理解していないかもしれませんが、24 頁の教育のところでは 1 項目「読書活動」だ</p>

	<p>けが取り上げられています。教育といえば学校教育からもちろん読書活動も必要ですし、スポーツの振興など色々ありますが、「読書活動の強化」ということで図書館のことが書いてあります。もちろんこれ以上書類を分厚くすることが目標ではありませんので要望はしませんが、たまたま図書館の利用のところでラブック号の巡回で図書貸し出しを行う事業が取り上げられております。私は図書館友の会のボランティアグループの会員として、たまたま最近例会でラブック号のことが話題になりました。この移動図書館車、今使っている自動車は平成19年から使っていて今年が10年目に当たるそうです。かなりガタがきていて、エアコンも故障続き、重い図書を乗せて巡回して役に立っているのは承知のことですが、やはり10年経ちますと燃費も悪くなるし、買い替えの時期であるけれども、新しい車を買っていただける予算を確保していただけないとのこと。1台1,000万円するそうですが、これだけ教育のところで「読書活動の強化」が取り上げられているので、是非踏み込んでいただきたいと思えます。これは私一人の思いではなく、図書館長も一生懸命お願いしているのだけれどもと言っておられました。事業費が平成32年度まで632千円/年ありますが、これだけでは車は買えませんので、是非ラブック号の新車をできるだけ早く確保できる予算を手当てしていただけたらと思えます。</p> <p>もう一つ、24頁に「調べ学習」とあり、注釈させていただきます。ここでは「調べ学習」と普通名詞で使われていますが、子どもさんが調べて学習するということが、実は固有名詞で「調べる学習コンクール」というのが毎年あります。全国レベルで小学生を対象にしたコンクールで、生涯学習課が担当しておられるようですが、図書館を利用して小学生の皆さんが自分のテーマを決めて勉強して報告書としてまとめるというもので、非常に知能のいる勉強の過程です。山陰地方で「調べる学習コンクール」に参加しているのは浜田の図書館だけだということで大変誇りに思っているのですが、昨年でしたか1名参加した子どもが奨励賞を受賞されています。もっともっと進めていただきたい勉強のシステムです。今年は12名の小学生の申込があったということで、2日間を通じてマンツーマンで指導を受けてコンクールに提出されます。是非応援したいと思います。こういうことがあるというのがなかなか私たち知らないですので、「調べ学習」という言葉が出てきたので皆さんに報告させていただきます。</p>
<p>会長</p>	<p>全体の理解のために、今は教育のところが話題になりましたが、教育のところで読書活動の強化が挙がっており、これは恐らく生活機能の強化に係る取組として教育分野ではこれを挙げられているのだらうと思えますが、その辺のことをもう一度ご説明をお願いします。</p>
<p>政策企画課 企画係長</p>	<p>掲載している事業についてです。すみません、説明不足なところもありましたが、この定住自立圏共生ビジョンの事業につきましては、全体的に市として当然やるような事業は除いておまして、どちらかと言うと、先程言いました、自治区間で連携・協力して行えるような事業をピックアップして挙げています。教育で言えば、図書館であればラブック号で地域を回ったりしますのでピックアップしておりますので、思ったような事業が挙がっていないということも多少あるかと思えます。また、どのような事業を拾い上げるかというところは、先程申しました「形成方針」で、これは議会で議決をいただいたものですが、今回お配りした参考資料旧共生ビジョンの73頁以降に形成方針を載せており、教育についてはこういう内容でという方針があり、それに沿って具体的に共生ビジョンに定めておりますので、「形成方針」にないものはこのビジョンにも挙</p>

	<p>げていないということで、ご理解いただければと思います。</p>
<p>教育部 部長</p>	<p>ラブック号についてです。おっしゃられるとおり車両が古い状況にありますので、財政当局とも話をしながら予算要求もして努力しているところです。</p> <p>それから、「調べる学習コンクール」につきましてご紹介いただきありがとうございました。特に子どもたちに学校図書館や市立図書館を使った調べ学習を進めているところです。「調べる学習コンクール」も平成 26 年度から始めて 3 年目を迎え、だんだん広がってきています。ご紹介いただきましたとおり、教育委員会上げて取り組んでいるところです。</p>
<p>佐々木玲慈 委員</p>	<p>これを国に提案して予算（交付税）をいただいて浜田市を中心にした自立圏を形成するとのことですが、先日、鹿足郡に東京から赴任している協力隊が浜田に遊びに来て、浜田は都市機能が整っていて非常に良いと言っていました。東京から来た子が、失礼ですが、鹿足郡に来て不便を味わって、浜田がすごく良く見えて素晴らしいと思います。これを石見の地域の核として、浜田市がしっかり頑張って軸足を持って地域を引っ張っていくような意識を持ってもらえればいいのだけれど、浜田の人たちはこれが当たり前だと思っていて、伸ばしていこうとか守っていこうという気概が見えない、甘い感じがしますと話をしてくれたのですが、そういうところをこういうもので、石見の核として、浜田に今あるものを充実させながら、守りながらやっていくということで、圏域の自立を進めるということ、しっかり国に訴えていただきたいと思います。浜田がしっかりしないと石見も持たないということを他所から来た子も感じているのではないかと感じており、せっかくこういうものを作られるのなら、前回のよりもパワーアップしたような表現があっても良いのかなと思います。人口や施設などの数字は今更いじれないと思いますので、地域住民の熱い思いや期待を書き込んでいただければ良いのかなと思います。</p>
<p>政策企画課 企画係長</p>	<p>地域住民の思いを入れるということですが、この計画の性格上、また、ビジョンを策定する上ではこういったものを載せることという要綱も国が示しており、その中で求められてもいませんので、この計画にそういったものを載せておりません。浜田市が元気になれば近隣の市町村もというお話がありましたが、今回は浜田市 1 市での定住自立圏の共生ビジョンということですが、当初は江津市さんとの定住自立圏の形成はどうかという話もさせていただいたところですが、実現はしませんでした。近隣市町村も人口減少が進んでおり、この共生ビジョンに限らず、連携して取り組んでいく必要があると思っております。この計画は 5 年間で、その間に中身を見直して変更等もできるようにもなっております。先程いただいた意見等も踏まえて、検討していきたいと思っております。</p>
<p>玉置委員</p>	<p>11 頁の「主な観光施設等」という表ですが、これも挙げれば切りがないとは思いますが、例えば、三隅では石州和紙会館なんか入れてもいいのではないのでしょうか。それから金城の観光農園はいかがでしょう。それから施設として目に見えるものではないですが、例えば春の浜っ子祭り、夏の花火大会、秋の B B 大鍋、神楽上演など、市民ないし周辺からも多くの観光客が来るイベントなんかも含めても良いのではないかなと思いました。神楽の点では定期公演も行っていますし、文章にならないかなと感じました。</p> <p>もう一つ、小さいことかもしれませんが、28 頁の一番下の「主な事業」に「山陰浜田港」水産物ブランド化推進事業」とありますが、私がかねがね「山陰浜田港」は良いとは思いますが、「漁港」と付けていただきたらと思っています。というのは、もう一つの国際貿易港とも対比させて、浜田港は漁港であると同</p>

	時に貿易港でもあるという特徴がありますので、できれば「浜田漁港」という正式名称で呼んだ方がいいと思います。
政策企画課 企画係長	観光施設等についてです。こちらには、入込客数の多い施設を主な観光施設ということで挙げています。先程のご意見のとおり、他にもこういった施設を入れた方が良くというようなご意見があるようでしたら、またご指摘いただければと思います。
産業経済部 部長	浜田港について、委員さんのご意見、もともとだと思います。私どもも、生産者の方、船に乗っておられる方や仲買の方、流通に関わる方等、色々な方のご意見を伺ってきたところでございます。今、浜田市は「どんちっち」というのを足掛け15年ぐらいやっております、やっと東京でも、のどぐろ、あじといったものは皆さんから好評を得てきたところでございます。今回「四季のお魚」として、「どんちっち」の3つ以外にもあるじゃないかというところで、「山陰浜田港」という名称でのどぐろの絵が描いてあるロゴを、浜田市が商標登録を取りました。委員の意に沿わないことは重々承知しておりますが、これで全国に売り出しております。確かに、「漁港」ということを大事にしたいという思いは十分感じておりますので、申し訳ございませんが、そういうことでご理解いただければと思います。
会長	その他ご意見があろうかと思いますが、時間の制約がございます。この場でご発言できなかった意見について、取り入れられるかは技術的にも制約があろうかと思いますが、事務局の方で受けていただくことはできますでしょうか。
政策企画課 課長	スケジュールに示してありますとおり、8月に策定を予定しておりますので、まだご意見等伺えればそれを反映したものに直すことは十分可能です。
会長	ということですので、恐らくはそんなに先延ばしにはできないと思いますが、今月中ぐらいのところで事務局にご意見を寄せていただければということでしょうか。
政策企画課 課長	昨年度も、審議会の方で出せなかった意見については、FAXやメールでお寄せいただいたこともありますので、そのようなやり方で今日出せなかったご意見がありましたら、お寄せいただければ検討させていただきたいと思っております。
会長	委員の皆様、それでよろしいでしょうか。この場で是非という方がおられればお願いします、よろしければ、後程事務局の方へご意見をお寄せいただければと思います。 では、浜田市定住自立圏共生ビジョンにつきましては、第2次浜田市総合振興計画に即した計画として、策定を進めていただくということで、よろしくお願ひします。
4 その他	
(1) 第2回審議会の開催日程について	
会長	ここで私の方から発言させていただきますが、先程ご審議いただきました総合戦略について、特に大きな修正のご意見もございませんでしたので、第2回が一応予定はされておりましたけれど、第2回については開催せずに、ビジョンについては個別にご意見をお寄せいただくということで進めてはいかかがかと思いますが、いかがでしょうか。事務局もそのようなことでよろしいでしょうか。
	(異議なし)
会長	そうしますと、お知らせしておりました第2回については、今年度は開催しないということにさせていただきます。

	ただ、この場でこの審議会の進め方等について発言しておきたいことがあればお願いしますが、いかがでしょうか。
	(発言なし)
会長	それでは、今年度についてはこれで終了となりますが、来年度もございましたので、引き続きよろしく申し上げます。
(2) 事務連絡	
会長	では、事務連絡をお願いします。
事務局	(委員報酬等の支払いについてお知らせ)
◆ 閉会	
会長	<p>本日の予定は以上でございますが、改めまして委員の皆様からご発言はよろしいでしょうか。</p> <p>よろしいでしょうか。皆様のご協力のおかげで、ほぼ予定どおりの時間になりました。</p>
副市長	<p>閉会になりつつありますが、長時間にわたりまして色々ご意見、ご審議いただきましてありがとうございました。</p> <p>評価の問題につきましては、執行部の内部でもどうあるべきかというのは色々議論したところでございます。年度ごとに各課はしっかり頑張っているのだけれども、例えば5年、6年先が100%になるという目標では、数字的に言うところEという評価になってしまうのもどうかという意見も出ました。今回の総合戦略の評価については、言いましたように、数字ではなくてどう進んでいるかということで事業の進捗状況を見ながら評価をさせていただいたということで、その辺についてはご理解をいただきたいと思っております。年度ごとに少し時間が経てば、きちっとした成果を見据えて評価をしていく必要があるかと思っておりますが、長期的、総合的に見るべきだというご意見もありましたけれども、人口の動態についてはなかなか難しい部分もあり、方程式のようにプラスマイナスゼロという訳にはいきませんので、その辺につきましてもご理解をいただきたいと思っております。</p> <p>それから、定住自立圏の共生ビジョンにつきましては、本来的に言いますと、浜田市が中心となり県西部の市をまとめた自立圏を形成するというのが、国が目指しているもので、東部で言いますと中海圏、松江や米子等に当たります。浜田市も当時江津市と話をしましたが、江津市は参加しないということになり、国も合併市町村を定住自立圏として認めるということで、浜田市1市で策定する計画です。計画としては、総合振興計画が市の行政を行っていく上でのきちっとした計画ですので、この定住自立圏については特別交付税8,000万円もいただきますので、その辺については、ご理解いただければと思います。ご意見があれば伺いたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。</p> <p>本日は大変ありがとうございました。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、以上を持ちまして、審議会を終了します。お疲れ様でした。</p>

(午後8時5分閉会、所要時間2時間5分)